

リーディングDXスクール事業【実践事例】

防府市立大道小学校（山口県）

【取組内容】 学年等の発達段階に応じたタブレット等ICT機器の利活用

本校では、タブレット端末を「ふだん使い」することを念頭に、1年生の段階から、タブレットをはじめICT機器を毎日必ず授業の中に活用した活動を取り入れている。

教科学習はもとより特別活動においても大型画面による個々の考え・意見の共有、シンキングツールの利活用による授業展開や、デジタルドリルを活用して学力向上に活用している。また、特別支援学級におけるICT機器も活用しており、その効果も実感している。

タイピングに個人差が見られることから、今後は児童が意欲をもって取り組むことができる「仕掛け」を展開していく。

